

あゆむ

・・・発行元・・・

認知症の人とあゆむ会

〒026-0052 岩手県釜石市小佐野町 3-9-1

事務局：はまゆり在宅介護支援センター内

TEL：0193-25-0650 / Fax：0193-23-1415

平成29年度認知症の人とあゆむ会総会・講演会開催

認知症の人とあゆむ会の今年度の総会と特別講演会が、5月29日（月）アミーガはまゆり地域交流スペースで開催されました。

総会では平成28年度事業報告及び収支決算報告、平成29年度事業計画案及び予算案が事務局より報告され、異議無く承認されました。

また、これまで認知症の人とあゆむ会会長を務めていた竹中茂夫会長が辞任することとなり、新会長にはこれまで事務局として活動されていた野田こづえさんが就任することになりました。竹中会長、7年間本当にありがとうございました。

総会に引き続き、せいてつ記念病院院長寺田尚弘先生により「私の認知症診療」というテーマで特別講演会が開催されました。

寺田先生自身の認知症診療の経験を基に、認知症患者本人やご家族、その他関係者にとって有効である治療法や投薬の考え方などわかりやすく紹介して頂きました。

アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症、脳血管性認知症それぞれの特徴と先生の経験に裏打ちされた治療方法は、とても勉強になりました。

また、先生の投薬方法についての説明もありました。特に認知症患者は、睡眠薬や風邪薬の処方の仕方によっては認知症状を悪化させることがある為、その注意点などを説明された後、先生が日頃認知症の方に試用しているお薬についての紹介がありました。

認知症の中核症状や周辺症状を適切にコントロールすることは、本人やご家族の心身の負担を軽減できると共に、リハビリや退院調整がスムーズに進む効果が期待できると話されました。そして、医療・介護・他職種が連携することにより、包括的ケアが実現し認知症患者への適切なアプローチができることになると最後に力を込めて話されました。



ミニ講座 「徘徊」について

- 1. 徘徊とは**
徘徊とは、今いる場所を判断する見当識機能や記憶が障害され、今の状況が判断できなくなる結果、歩き回るといった行動が見られることです。最近では、運転する機能はあるものの今いる場所が分からなくなり起る、車での徘徊が増えてきています。
- 2. 徘徊が起こる原因**
何も目的がなく歩いているのではなく、本人の中ではきちんとした理由がある場合が多いです。
- 3. 徘徊への対応の仕方**
怒ってしまうと、怒られたというネガティブな感情から「怒られる場所＝居心地が悪い場所＝自分の家ではない」という気持ちになり、その結果さらに外に出ていきたくなる衝動を高めます。
- 4. 徘徊への具体的な対応方法**
本人の不安な要素を探ることや気持ちを逸らすこと、可能であれば一緒に歩いてみたり、近所の方に一声かけて見守って頂くとよいでしょう。
- 5. SOS徘徊ネットワークと福祉機器**
釜石市では行方不明になった際にいち早く捜索ができるように釜石市認知症高齢者徘徊 SOS ネットワーク事業を実施しています。また、福祉用具では玄関を出ていくと音で知らせる徘徊防止センサーや携帯電話や靴で位置情報が確認できるGPS装置などがあります。

★シリーズ★ 認知症最新ニュース

「カテキンが認知症予防に！」
緑茶に含まれる「カテキン」は、アルツハイマー型認知症の原因物質として考えられているアミロイドβたんぱくや、タウたんぱくの凝集を抑制し、その毒性を弱めることが報告されています。石川県で行なわれた60歳以上の住民を対象とした5年間の調査では、緑茶を飲まない人に比べ、週に1～6日飲む人達では軽度認知症を発症するリスクがおよそ半分に、毎日飲む人達ではおよそ3分の1になったことがわかりました。カテキンのような抗酸化力のある成分は、ペットボトルのお茶では摂取しづらいため、週に何度かは急須で入れたお茶を飲んでみてはいかがでしょうか！

活動予定

- ★ つどい定例会（対象：正会員・一般介護者）
日時：7月19日（水）13:30～15:00
会場：小佐野コミュニティ3階
- ★ あゆむカフェ（対象：正会員）
日時：8月23日（水）
会場：小佐野コミュニティ1階談話室
- ★ 施設見学会（対象：正会員）
9月予定 日時が決まり次第ご連絡致します。